

供用予定箇所 一覧表

供用予定年度	路線名	箇所名	事業延長(m)	供用予定延長(m)	期待される効果
H29	国道168号	辻堂バイパス 五條市大塔町宇井～小代	4100	1100 (完成供用)	【骨格幹線道路ネットワーク】 紀伊半島アンカールートとして、規格の高い道路整備を進め、南部地域における防災機能の向上及び地域活性化を図るとともに、大規模災害への対応力の強化を図ります。
H29	主要地方道 枚方大和郡山線	柳町工区 大和郡山市柳町	600	300 (完成供用)	【骨格幹線道路ネットワーク】 バイパス整備により、新奈良県総合医療センターへのアクセス性を向上するとともに、柳町地区の安全で円滑な通行を確保します。
H29	一般県道 御所高取線	玉手交差点 御所市玉手	160	160 (完成供用)	玉出交差点の改良により、交差点部における安全で円滑な通行を確保するとともに御所ICへのアクセス性を向上します。
H29	(都)石木城線	大和郡山市城町 (奈良市石木町～大和郡山市城町)	1100	1,100 (完成供用)	【骨格幹線道路ネットワーク】 バイパス整備により、新奈良県総合医療センターへのアクセス確保、第二阪奈有料道路へのアクセス性を向上するとともに、奈良市石木町～大和郡山市城町地区の安全で円滑な通行を確保します。
H29	一般県道 上笠間八幡名張線	毛原工区 山添村毛原	1170	400 (部分供用)	毛原地区における幅員狭小箇所を解消し、安全で円滑な通行を確保します。
H29	国道369号	香醉峠工区 奈良市都祁吐山～宇陀市榛原赤瀬	980	460 (部分供用)	香醉峠区間における登坂車線の整備により、安全で円滑な通行を確保します。
H29★	主要地方道 大又小川線	三尾工区 東吉野村三尾	500	150 (部分供用)	三尾地区における幅員狭小箇所を解消し、安全で円滑な通行を確保します。

※ ★:新たな公表箇所 ●:変更箇所

※骨格幹線道路ネットワーク:「奈良県道路整備基本計画」(平成26年7月策定)において、県土の骨格を形成すべき特に重要な路線に位置づけ、重点的に整備を推進する幹線道路

※供用予定年度は、標準的な工程を想定した場合の目安であり、今後の予算の状況や施工上の条件変化等により変更が生じる場合があります。

供用予定箇所 一覧表

供用予定 年度	路線名	箇所名	事業 延長 (m)	供用予定 延長(m)	期待される効果
H30★	一般県道 古瀬小殿線	朝町工区 御所市朝町	800	560 (部分供用)	バイパス整備により朝町地区の幅員狭小箇所を解消し、安全で円滑な通行及び歩行者の安全性を確保します。
H30★	国道309号	車坂(下湊)工区 大淀町下湊	300	300 (完成供用)	車坂峠交差点の改良により、安全で円滑な通行を確保します。

※ ★:新たな公表箇所 ●:変更箇所

※骨格幹線道路ネットワーク:「奈良県道路整備基本計画」(平成26年7月策定)において、県土の骨格を形成すべき特に重要な路線に位置づけ、重点的に整備を推進する幹線道路

※供用予定年度は、標準的な工程を想定した場合の目安であり、今後の予算の状況や施工上の条件変化等により変更が生じる場合があります。

供用予定箇所 一覧表

供用予定年度	路線名	箇所名	事業延長(m)	供用予定延長(m)	期待される効果
H31	主要地方道 枚方大和郡山線	中町工区 奈良市中町	1600	220 (部分供用)	【骨格幹線道路ネットワーク】 4車線整備により、慢性的な渋滞を緩和するとともに、砂茶屋橋東詰交差点の安全な通行を確保します。
H31	主要地方道 天理王寺線	長楽工区 川西町保田～河合町池部	1700	500 (部分供用)	【骨格幹線道路ネットワーク】 バイパス整備により、曾我川で分断された河合町池部地区と川西町保田地区の連携強化を図ります。
H31★	一般県道 助命下荻線	伏拝工区 山添村伏拝	960	590 (完成供用)	伏拝地区における幅員狭小箇所を解消し、安全で円滑な通行を確保します。
H31★	一般県道 上笠間八幡名張線	毛原工区 山添村毛原	1170	290 (部分供用)	毛原地区における幅員狭小箇所を解消し、安全で円滑な通行を確保します。
H31★	一般県道 上笠間三本松停車場線	三本松工区 宇陀市室生三本松	280	280 (完成供用)	三本松地区における幅員狭小箇所を解消し、安全で円滑な通行及び歩行者の安全性を確保します。
H31★	国道308号	藤尾工区 生駒市藤尾町	600	150 (完成供用)	藤尾地区における幅員狭小箇所を解消し、安全で円滑な通行を確保します。

※ ★:新たな公表箇所 ●:変更箇所

※骨格幹線道路ネットワーク:「奈良県道路整備基本計画」(平成26年7月策定)において、県土の骨格を形成すべき特に重要な路線に位置づけ、重点的に整備を推進する幹線道路

※供用予定年度は、標準的な工程を想定した場合の目安であり、今後の予算の状況や施工上の条件変化等により変更が生じる場合があります。